



市政に対する一般質問

令和5年12月5日作成

(発言順序は抽せんによる)

発 言 日	発言 順序	発 言 者	質問の要旨 掲載ページ
12月12日(火)	1	武 藤 康 史	1
	2	秦 邦 雄	2
	3	深 田 康 孝	3
	4	菊 池 義 人	4
	5	山 田 慎太郎	5
	6	木佐木 照 男	6
12月13日(水)	7	関 根 香 織	7
	8	高 橋 健一郎	8
	9	鈴 木 貴美子	9
	10	近 藤 純 枝	10
	11	榎 本 菜 保	11
12月14日(木)	12	諸 根 善 昭	12
	13	関 根 守 男	13
	14	湯 谷 百合子	14
	15	山 田 孝 夫	15
	16	豊 嶋 遥	16

発言日 12月12日（火）

発言順序 1番～6番（発言順序は抽せんによる）

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
1	武 藤 康 史 (市民クラブ未来)	<p>1 令和6年度予算編成方針について</p> <p>(1) 市の状況と財源の確保 「地方債の発行や基金の取り崩し」の具体的な想定内容（金額と対象事業）と今これを明言する理由は。</p> <p>(2) 予算編成の基本方針</p> <p>(ア) ペイ・アズ・ユー・ゴー原則において「既存の事業を見直す」とした具体的な事例と内容は。</p> <p>(イ) 例年掲げる「3ヵ年実施計画を踏まえて予算要求する」とは具体的に何か。</p> <p>(ウ) 歳入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「負担の公平性の観点から十分な見直しを行い、受益者負担の適正化に努める」とは増税や使用料等の値上げを意味するものか。 <p>(エ) 市議会や監査委員の指摘事項の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指摘や提言要望を受けた事項について、予算編成後に対応結果と理由を説明すべきと考えるがいかがか。 	市長 副市長 担当部長
		<p>2 行政への民意の反映について</p> <p>(1) サブアリーナについて</p> <p>(ア) 市議会議員有志が社会調査研究センター（さいたま市）に委託して行った蓮田市政に関する市民世論調査（以下「今回世論調査」という）によると、建設することへの賛成が30%（反対40%）、行政課題としての優先度が高いと考える人が15%（低い62%）という結果についてどう考えるか。</p> <p>(イ) サブアリーナ建設に係る財源の確保策及びペイ・アズ・ユー・ゴー原則との適合は。</p> <p>(ウ) サブアリーナの最適な用途・役割、費用対効果について、どのように検証し、説明されたのか。</p> <p>(エ) 事業化の手法について、どのような検討を行ったのか。</p> <p>(オ) 「今回世論調査」の結果を見て、令和6年度予算において、どのように取り扱うのか。</p> <p>(2) 市政における政策の優先順位について</p> <p>(ア) 令和4年度蓮田市調査で市民意識を問うた45の施策のうち満足度下位10項目、期待度上位10項目について、令和6年度予算にどのような形で反映するのか。</p> <p>(イ) 「今回世論調査」で優先度が高い政策課題の最上位にある「駅周辺のにぎわいづくり」「企業や商業施設の誘致」について、市民の声を今後の施策にどう反映するのか。</p> <p>(3) 広聴活動の充実強化とシビックプライドの醸成について</p> <p>(ア) 「今回世論調査」において、60%の市民が「市政に民意が反映されていない」と考えていることへの見解と今後の対応は。</p> <p>(イ) 今後の広聴活動を抜本的に見直し強化する考えは。（市民対話の頻度・方法、外部知見の活用等）</p> <p>(ウ) シビックプライドの核となる「蓮田オンリーワンプロダクト」は現存するのか、するのであればそれはどのようなものだと考えるか。</p>	市長 副市長 教育長 担当部長

発言日 12月12日（火）

発言順序 1番～6番（発言順序は抽せんによる）

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
2	秦 邦 雄 (無会派)	1 障がい者施策の向上について (1) 精神障がい者施策について (ア) 障がい者数の状況は。 (イ) 障がい者やその家族からの要望は。 (ウ) 地域活動支援センターの現状と今後の対応は。 (2) 知的障がい者の入所施設の建設促進について (ア) 県立小児医療センター公舎跡地について ・土地利用に係る県・市の対応状況は。 ・課題は。 ・今後の対応は。 (イ) 障がい者支援施設の入所・待機者数は。 (ウ) 障がい者やその保護者の状況は。	市長 担当部長

発言日 12月12日（火）

発言順序 1番～6番（発言順序は抽せんによる）

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
3	深 田 康 孝 (日本共産党)	1 高齢者の暮らしを守る取り組みについて (1) 市内の入所して介護サービスが利用できる施設について (ア) 現状は。(種類、施設数) (イ) 入居状況で市が把握していることは。 (2) 介護施設の運営について (ア) 運営状況の把握のための市の取り組みは。 (イ) 運営困難となった場合、入所者への市の対応は。 (ウ) 施設間の連携についての今後の考えは。	市長 副市長 担当部長
		2 蓮田市の平和行政について (1) 市としての平和への取り組みについて (ア) 本市で現在行っている市民や学校に向けた平和への取り組みは。 (イ) 現在行っている取り組みの継続は。 (ウ) 現在行っている取り組みの他に平和への取り組みを広げる予定は。	市長 副市長 教育長 担当部長

発言日 12月12日（火）

発言順序 1番～6番（発言順序は抽せんによる）

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
4	菊 池 義 人 (市民クラブ未来)	1 サブアリーナ建設問題について (1) 市民意識調査からサブアリーナの必要性及び緊急性をどう考えるか。 (2) 市民意識調査とパブリックコメントの違いは。 (3) 予算面から検証するサブアリーナ建設問題 (4) 事業の優先順位 (5) 市議会議員有志で株式会社 社会調査研究センター（さいたま市）に委託して行った蓮田市政に関する市民世論調査からは30%の賛同しか得られていない。このことからサブアリーナの必要性及び緊急性をどう考えるか。 (6) 市民の声に耳を傾けた事業推進をするべきでは。	市長 副市長 教育長 担当部長
		2 消防広域化の検証について (1) 消防広域化のメリットとデメリット (ア) 職員の待遇 (イ) 初動体制の強化 (ウ) 高度、専門部隊の設置 (エ) 消防車、救急車、特殊車両の更新 (オ) 救急車での救急搬送 (カ) コロナ禍での救急対応から検証する広域化 (キ) 大規模災害（地震・ゲリラ豪雨）対応 (ク) 消防団との連携 (ケ) 首長の指揮権 (2) 平成23年11月25日に広域消防離脱をした経緯 (3) 費用面での検証 (4) 今後の方針は。	市長 副市長 消防長

発言日 12月12日（火）

発言順序 1番～6番（発言順序は抽せんによる）

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
5	山 田 慎太郎 (はすだ政和会)	1 総合市民体育館サブアリーナ建設について (1) 現状は。 (2) 計画の進捗は。 (3) 市民理解をどのように考えるか。 (4) 課題は。 (5) 今後の予定は。	市長 副市長 担当部長
		2 起業家支援に関して (1) 起業家支援事業補助金について (ア) 現状は。 (イ) 応募者の推移は。 (ウ) 応募者からの声は。 (エ) 参考事例は。 (2) 今後の取り組みは。	市長 副市長 担当部長

発言日 12月12日（火）

発言順序 1番～6番（発言順序は抽せんによる）

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
6	木佐木 照 男 (新風会)	1 耕作放棄地について (1) 増加の原因は。 (2) 放棄地が引き起こす問題は。 (3) 問題改善に向けた対策 (ア) 再利用に向けた支援は。 (イ) 農地以外の用途は。 (ウ) 宅地に転用する方策は。 (エ) ソーラーシェアリングに向けた支援金は。 (オ) 農地中間管理機構支援は。 (4) 環境に与える影響は。	市長 担当部長 農業委員会事 務局長
		2 道路にはみ出している樹木の伐採等の対策について (1) はみ出した樹木は誰の管理か。 (2) 撤去させる法的手段は。 (3) 事故が起きた場合の責任は。	市長 担当部長

発言日 12月13日(水)

発言順序 7番～11番(発言順序は抽せんによる)

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
7	関 根 香 織 (はすだ政和会)	<p>1 物価高騰等に対応した安心・安全な学校給食について</p> <p>(1) 学校給食費の会計管理</p> <p>(ア) 口座振替の現状</p> <p>(イ) 公会計化の検討状況</p> <p>(2) 現在の学校給食費の算定方法</p> <p>(3) 物価高騰等による影響</p> <p>(ア) 献立への影響</p> <p>(イ) 質と量の確保</p> <p>(4) 今後の学校給食費の見通し</p> <p>(ア) 学校給食委員会での協議内容</p> <p>(イ) 給食費見直しの必要性</p> <p>(ウ) 社会情勢に則した給食費の検討</p> <p>(5) 家庭への負担軽減策</p> <p>(ア) 就学援助世帯への支援</p> <p>(イ) 物価高騰等に対する軽減措置の考え</p> <p>(ウ) 子育て支援策としての無償化の考え</p>	市長 教育長 担当部長
		<p>2 蓮田駅東口を起点とする道路環境の整備について</p> <p>(1) 蓮田駅東口駅前広場</p> <p>(ア) 渋滞緩和策の検討状況</p> <p>(イ) 歩道整備の現状と今後の見通し</p> <p>(2) 市道52号線及び市道3500号線の歩道</p> <p>(ア) 歩道の現状</p> <p>(イ) 植樹帯の現状</p> <p>(ウ) 植樹帯の維持管理</p> <p>(エ) 今後の予定</p> <p>(3) 蓮田駅東口黒浜線の延伸</p> <p>(ア) 未整備区間の用地買収及び工事の進捗状況</p> <p>(イ) 管理移管に係る市の考え</p> <p>(ウ) 今後の予定</p>	市長 担当部長

発言日 12月13日（水）

発言順序 7番～11番（発言順序は抽せんによる）

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
8	高 橋 健一郎 (公明党)	1 市内の防犯について (1) 空き巣の被害の現状について (ア) 過去3年間の件数と内容 (イ) 被害に遭わないための対策 (2) 特殊詐欺の現状について (ア) 過去3年間の件数と内容 (イ) 被害に遭わないための対策	市長 担当部長
		2 大地震発生時の避難行動について (1) 市内の被害想定は。 (2) 災害弱者への対策 (ア) 高齢者の対応 (イ) 障がい者の対応 (3) 災害情報の周知は。	市長 担当部長
		3 食品ロス削減の推進について (1) 市内の取り組みは。 (2) フードシェアリング展開の支援は。	市長 担当部長

発言日 12月13日(水)

発言順序 7番～11番(発言順序は抽せんによる)

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
9	鈴 木 貴美子 (公明党)	1 生命(いのち)の安全教育について (1) 市における取り組みは。 (2) 教材はどのようなものか。 (3) 保育施設や保護者等への啓発については。 (4) 今後の課題は。	市長 教育長 担当部長
		2 子育て支援の充実について (1) 県の乳幼児医療費助成の拡充により、市の子ども医療費助成予算が減となる額は。 (2) 「子育て支援の充実」として検討している取り組みは。 (3) 予防接種事業のうち、ポリオワクチン5回目接種費用を助成するのはいかがか。 (4) 産婦健診の回数を増やすのはいかがか。	市長 担当部長
		3 認知症の方との共生社会の実現を推進するための取り組みについて (1) 計画策定に向けて、具体的にはどのように進めていくのか。 (2) 支援体制の整備についての考えは。 (3) 認知症の方や家族等の意見を聴く「関係者会議」の設置については。	市長 担当部長

発言日 12月13日(水)

発言順序 7番～11番(発言順序は抽せんによる)

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
10	近 藤 純 枝 (はすだ政和会)	1 地域クラブ活動について (1) 現時点での地域活動の把握は。 (2) 学校と地域スポーツの組織づくりは。 (3) 掛かる経費に伴う予算は。 (4) 中学校部活動の具体的な地域移行に向けた課題について (ア) 中体連との関係は。 (イ) 運動部・文化部の対応は。	市長 教育長 担当部長
		2 高齢者の生きがいについて (1) 高齢者の就労について (ア) 高齢者の健康状態は。 (イ) 働く方々の状況は。 (ウ) シルバー人材センターの活用は。 (エ) 高齢者の就労につなげるための取り組みは。 (2) 後期高齢者について (ア) 現状は。 (イ) 問題点は。 (ウ) フレイル予防対策は。	市長 担当部長

発言日 12月13日(水)

発言順序 7番～11番(発言順序は抽せんによる)

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
11	榎 本 菜 保 (日本共産党)	1 加齢性難聴者の聞こえを保障する市の取り組みを (1) 加齢性難聴者における市の現状と認識について (ア) 市内対象者数の見込み (イ) 難聴に対する市民の声や相談 (ウ) 難聴に起因する暮らしや健康の問題 (2) 加齢性難聴者に対する現在の支援策は。 (3) 今後の取り組みについて (ア) 難聴の早期発見、対策の重要性についての啓発 (イ) 市内医療機関との連携 (ウ) 言語聴覚士による相談窓口の設置 (エ) 補聴器購入費助成制度の創設	市長 担当部長
		2 保育士が働きやすい労働環境と処遇改善を (1) 公立保育園の現状と市が認識している課題について (ア) 人員配置について ・保育士1人に対する園児の割合 ・保育士として公立保育園で働く人数 (正規職員、任期付職員、会計年度任用職員) ・正規職員拡充に向けた取り組み (イ) 保育士の離職状況 (ウ) 園との連携状況と相談体制 (エ) 研修参加状況 (2) 今後の取り組みについて (ア) 配置基準の改善 (イ) 処遇改善 (ウ) 役割や経験に応じた研修受講への支援 (エ) 園長と連携した相談体制の構築 (オ) 保育の質を高めるためのプロジェクト始動	市長 教育長 担当部長

発言日 12月14日(木)

発言順序 12番～16番(発言順序は抽せんによる)

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
12	諸 根 善 昭 (日本共産党)	1 蓮田駅西口行政センターの窓口業務の拡充を (1) 蓮田駅西口行政センターの機能と役割 (2) 窓口で対応できない業務とその理由 (3) 窓口業務の拡充に向けた検証作業の現状	市長 担当部長
		2 食材費補助を継続し学校給食の質の確保を (1) 食材費補助後の学校給食の状況は。 (2) 学校給食委員会の答申は。 (3) 給食費値上げではなく食材費補助の継続で学校給食の質の確保を。	市長 教育長 担当部長
		3 宿浦橋人道橋のすみやかな完成を (1) 宿浦橋人道橋設置に向けての取り組みの現状 (2) 工事の着手と完成の時期は。	市長 担当部長

発言日 12月14日(木)

発言順序 12番～16番(発言順序は抽せんによる)

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
13	関 根 守 男 (はすだ政和会)	1 国際興業バス路線について (1) 廃止予定路線(蓮11・蓮12)について (ア) これまでの経緯 (イ) 現在の状況 (ウ) 今後の対応	市長 担当部長
		2 水害対策について (1) 遊水地・調節池・調整地について (ア) 市内の整備状況 (イ) 新たな調整地等の計画は。 (ウ) 農地埋め立ては。 (エ) 今後の課題	市長 担当部長 農業委員会事務局長
		3 見沼代用水について (1) 市内の活用状況について (ア) 農業用水としての活用状況 (イ) 廃川敷の活用状況 (ウ) 管理用道路等の管理状況 (エ) 観光資源として活用してはどうか。 (オ) 小中学校でどのように教えているか。 (カ) 開削300周年に向けての取り組みは。 (キ) 伏越公園・懸渡井公園を整備してはどうか。	市長 担当部長

発言日 12月14日(木)

発言順序 12番～16番(発言順序は抽せんによる)

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
14	湯 谷 百合子 (無会派)	1 パルシーに係る経費とサブアリーナ建設に伴う課題について (1) パルシーの稼働率について (ア) 平日の利用団体と稼働率 (イ) 土・日の利用団体と稼働率 (ウ) 年間を通しての大会等の利用 (2) パルシーに係る年間経費と利用収入は。 (3) サブアリーナの稼働率予測について (ア) 平日の利用団体と稼働率 (イ) 土・日の利用団体と稼働率 (ウ) 年間を通しての大会等の利用 (4) サブアリーナ建設によるメリットについて (ア) 一般市民が受けるメリット (イ) 今後の学校教育、生涯教育がどう変化するか。 (5) サブアリーナに係る年間経費と利用収入予測は。 (6) サブアリーナ建設のライフサイクルコストは。	市長 教育長 担当部長
		2 サブアリーナ建設より優先すべき課題について (1) 避難所となる小中学校体育館のエアコン設置とトイレ改修は。 (2) 学校の和式トイレは。 (3) 高齢者や自動車運転免許返納者の公共交通(コミュニティバスや乗合タクシー)の確保は。	市長 教育長 担当部長

発言日 12月14日(木)

発言順序 12番～16番(発言順序は抽せんによる)

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
15	山 田 孝 夫 (公明党)	1 ユニバーサルシートについて (1) 認識は。 (2) 現状は。 (3) 課題は。 (4) 今後の設置予定は。	市長 担当部長
		2 国指定史跡「黒浜貝塚」について (1) 整備状況について (ア) 今後の整備予定は。 (イ) 敷地の買収状況は。 (2) 利用状況について (ア) 来場者数は。 (イ) 市内小中学校の児童生徒の見学状況は。 (ウ) 市外からの見学状況は。 (エ) 行政視察の受け入れ状況は。 (3) 観光資源としての位置づけについて (ア) 誘客の方策は。 (イ) 近隣市町へのPR活動は。 (ウ) 観光協会との連携は。 (エ) 課題は。	市長 教育長 担当部長
		3 地域活動について (1) 地域コミュニティとしての自治会の弱体化について (ア) 現状認識は。 (イ) 自治会支援の取り組みは。 (ウ) 課題は。 (2) 自治会のデジタル化について (ア) デジタル化の必要性の認識は。 (イ) 電子回覧板の認識は。 (ウ) 支援の取り組みは。	市長 副市長 担当部長

発言日 12月14日(木)

発言順序 12番～16番(発言順序は抽せんによる)

発言 順序	発 言 者 (所属会派)	質 問 項 目 と 要 旨	答 弁 を 求める者
16	豊 嶋 遥 (はすだ政和会)	1 退職自衛官の採用について (1) 近隣市町の状況は。 (2) 採用の課題は。 (3) 退職自衛官を防災監として採用してはいかがか。	市長 副市長 担当部長 消防長
		2 消防団について (1) 学生消防団活動認証制度について (ア) 蓮田市での取り組みは。 (イ) 本制度の対象者は。 (ウ) 本制度の周知方法は。 (2) 準中型自動車免許の取得費用助成について (ア) 近隣市町の取り組みは。 (イ) 蓮田市での導入の課題は。 (ウ) 消防団員の準中型自動車免許の取得費用に対する公費助成の考えは。	市長 副市長 消防長
		3 水道料金の支払方法について (1) 現状は。 (2) 近隣市町の状況は。 (3) クレジットカードでの納付対応について (ア) 課題は。 (イ) 納付対応の実現は。	市長 担当部長